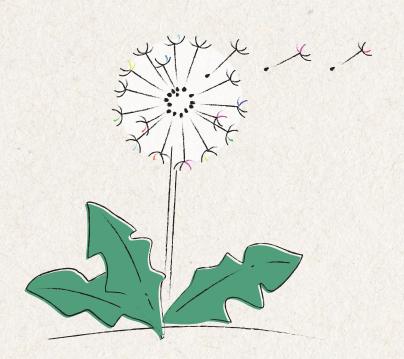
スコープグループ サステナビリティーレポーム

SUSTAINABILITY REPORT

2021-2022



気づくこと、考えること。変えること、守ること。 行動し続けること。 SDGsの種を蒔こう。



スコープグループの想い



SDGsは机上の理想でもなければ、 世界の企業の踏み絵でもありません。 それは地球との共生であり、 人間同士の信頼であり、 ずっと続く未来への約束です。

私たちができることは、尊重し合うこと、 わがままを譲り合うこと、 言葉に、行動に、責任をもつこと、 そして声を上げ続けることだと思います。

それらの行いは 小さなことかもしれません。 しかし、少しずつSDGsの種を蒔き、 たくさんの人とつながれば、 何かを変えることは可能だと思っています。

少しだけ世界を良くする活動に、 スコープグループは取り組んでいます。

> 株式会社スコープ 代表取締役社長 横山 繁



「企画で未来を変える」

スコープグループは、変化する社会の中で価値を創造し、実現し続ける企画集団です。世界の課題である「持続可能な社会」を実現するため、今こそ、新しい発想やアイデアが求められています。私たちはこれまで培ってきた「企画の力」とSDGs達成に向けた志のもと、より良い未来の実現を目指します。

─────────── サステナビリティー重点課題 ─────────

SDGコンパスに沿い、私たちの事業活動の各段階で社会課題を洗い出し、どのような取り組みがSDGs ゴール (目標) やターゲット (項目) につながるのか、バリューチェーンを分解し、優先目標の絞り込みと 基本行動指針を設定しました。



スコープグループは、国際社会全体の目標であるSDGs (持続可能な開発目標)の達成に貢献することを活動の根幹に据え、経営サイドから全ての従業員に至るまで、社会の課題に応えることができるよう考え、取り組み、行動します。

1. Innovation

環境・社会課題の解決に向けた企画・商品・サービスを提供し、SDGsの達成に貢献します。

2. Action

社内外を通じて、自ら主体性を持ってSDGsの達成に向けた具体的なアクションを実行します。

3. Communication

社会とステークホルダーに対して、SDGs推進のための"コミュニケーション"を提供します。

Contents

2020年3月に発出したスコープグループ"サステナビリティー・コミットメント"宣言から、より良い未来の 実現を目指した活動に全ての従業員が取り組んでいます。2021年度はより一層「社会の課題」に目を向け、 "企画の力"による解決で貢献してきました。気づくこと、考えること、行動し続けることで花を咲かせた 2021年度(2021年4月~2022年3月)の取り組み事例を紹介させていただきます。

Innovation

環境・社会課題の解決に向けた企画・商品・サービスを提供し、 SDGsの達成に貢献します。

- **05** アップサイクルチャレンジ ·····〉 廃棄物×デザイン×ブランディング
- 06 食品ロス削減への取り組み ……》 小売店の廃棄ロスを削減するデジタルサービス
- **07** 健康な暮らしのバックアップ ……) 町民の健康×デジタルサポート
- 08 社会課題を解決する基地 ---- コワーキングスペースでEnjoy creativity!
- **09** CO2排出削減にも貢献 ----> サンプルフリーへの挑戦 持続可能なまちづくりの探究 ……》 達人に学ぶ地域力の創造

Action

社内外を通じて、自ら主体性を持ってSDGsの達成に向けた 具体的なアクションを実行します。

- 10 プラスチック汚染問題解決への取り組み …… 映画「マイクロプラスチック・ストーリー」との コラボレーション
- 11 行政/団体活動への参加 ……〉 作品制作で社会へ発信
 - ·····〉 社会貢献団体への参加(FSC®COC認証ほか)
- 12 社内のシーズンイベント ・・・・ サステナビリティーな創作活動
- 13 サステナビリティーな働き方へ …… 多様化への変革

Communication

社会とステークホルダーに対して、 SDGs推進のための"コミュニケーション"を提供します。

企業様のSDGs活動へコミュニケーションデザインを提供

- 14 … ウェブ制作・プロモーション動画
- **15** ····· > PR施策・イルミネーション装飾

1. Innovation

環境・社会課題の解決に向けた企画・商品・サービスを提供し、 SDGsの達成に貢献します。

※ アップサイクルチャレンジ







廃棄物×デザイン×ブランディングで生まれた「エアバッグMA-1」

株式会社鈴木商会、スコープ、一般社団法人BRIDGE KUMAMOTOが共創し、廃棄自動車 から取り出したエアバッグをアップサイクルした「エアバッグMA-1」を製作しました。エア バッグは素材の頑丈さから再利用が難しくこれまでは焼却処分するしかありませんでした。 プレスリリース が、今回の取り組みにより、資源として新しい価値を生み出すことに成功。廃材をアイデアの 力でアップサイクルすることで廃棄物を減らし、必要とされる商品を作り出すことができました。









「エアバッグMA-1」は、鈴木商会のELV(自動車リサイクル)事業部のユニホームとしてまずは導入 され、ローカルメディアを中心に多くの媒体で紹介されました。従業員の皆さんからは、「エアバッグ の特性が生かされていて使いやすい」「おしゃれなデザインで普段着としても違和感なく着こなせる」 と好評をいただいています。コンセプトは「普段使いできるアップサイクル」で、ジャケットデザインは スコープ、ワッペンなどのブランディングデザインはBRIDGE KUMAMOTOが手掛けています。

製品の特徴

- ・未使用のまま役目を終えたエアバッグをアップサイクルしたサステ
- ・エアバッグならではの生地強度があり、耐久性・保温性に優れる。
- ・グッドデザイン賞など多数の受賞歴をもつクリエーティブディレク ター BRIDGE KUMAMOTOによるオリジナルワッペン。











Contents / Innovation

1. Innovation

環境・社会課題の解決に向けた企画・商品・サービスを提供し、 SDGsの達成に貢献します。



食品ロス削減への取り組み







賞味期限(販売期限)を監視するアプリ「Semafor」(セマフォー)



店内における食品廃棄物発生原因のほとんどは、 商品の有効期限が切れることです。「Semafor」 は、その解決のために開発されたデジタルソリ ューションで、有効期限切れのリスクがある商 品を担当者に伝え、廃棄を防ぐためのアクショ ン (値下げ、売場移動など)を促します。日付管 理が容易になり「売り切るチカラ」が強化され、 廃棄口スが削減。同時に、全商品を対象とした 定期的な日付チェック作業を不要にし、大幅な 作業時間の削減を実現します。



グローバルネットワークでベストプラクティスを探求!

「Semafor」は日本を含めた18か国35以上の 小売りチェーンで導入されています。スコープでは、 毎週行われるスウェーデンのWhywaste社と のオンラインミーティングを通じ、各国における ベストプラクティスを共有してサービスの向上 に努めるとともに、世界共通の課題である食品 廃棄物の削減に取り組んでいます。

























コンビニ向け「Semafor Deli COUNTER | (セマフォーデリ・カウンター)を開発!

Whywaste Japanでは、「Semafor」に続き、調理アップ後の時間経過で鮮度を監視するアプリを開発し ました。コンビニエンスストアのカウンター商品(ホットスナック、おでん、あんまん・肉まんなど)のように、 販売時間が短い商品の管理に効果を発揮します。鮮度・品質管理のクオリティーを高めるとともに、レジカ ウンターのオペレーションの効率化を実現します。

実際の商品と同じ配置での画面レイアウトが 可能です。設定した時間が経過するとアラーム 音でお知らせします。



: 健康な暮らしのバックアップ







町民の健康×デジタルサポート 健康支援アプリ「むつざわさん歩」

千葉県の南東部に位置する睦沢町は、「先進予防型まちづくり」を推進しています。町民の健康管理に役立 てていただくため、スコープが健康支援アプリ「むつざわさん歩」を企画製作。現在、町で活用されています。 毎日の歩数計測のほか、町内で開催される健康イベントでのポイント付与など、楽しんで使える機能を搭載。 デジタルを活用して町民の皆さまの健康づくりをサポートしています。



睦沢町役場 健康保険課からのメッセージ:

66「むつざわさん歩」をインストールし、自分なりの目標を立てて歩いてい る方、ポイントを貯めるのが楽しくて動画の運動やラジオ体操などを頑張っ ている方。アプリで自分流の楽しみ方を見いだしていることが、心の健康や 生きがいにもつながっているのではと思います。健康に関心のある方だけで なく、運動習慣のない方が健康づくりを始める動機づけ、またその取り組み の習慣化を支援する「むつざわさん歩」が普及することで、町民全体の健康 寿命の延伸を目標としています。 >>

ラジオ体操への参加や温浴施 設の利用など、多種多様な活動 でポイントを付与。たまったポ イントは、道の駅で開催するイ ベントなどで利用できるしくみ になっています。

健康教室

ウォーキング

ラジオ体操

健康診断

温浴施設利用

健康イベント

など、いろいろな活動で ポイントがたまります。



17.250_p



Cント評価 「健康等命」を延ばすには "歩くこと"が効果的です。





動画を見ながら

運動してためる!

ラジオ体操やオンライン

レッスンを視聴しながら

運動することで

ポイントがたまります。

06

1. Innovation

環境・社会課題の解決に向けた企画・商品・サービスを提供し、 SDGsの達成に貢献します。



社会課題を解決する基地





コワーキングスペース「CC神楽坂」でEnjoy creativity!

CC神楽坂(CREATIVE COMMUNITY神楽坂)は、ビジネスパートナーなどの新しいコミュニケーション やプロジェクトを探したい、ソーシャルデザイン(社会課題解決)に興味がある、クリエーティブに役立つオプ ションサービスがほしい、といった人たちが多く利用するコワーキングスペースです。社会課題の発信と解決 のコミュニティー基地になることを目指し、オープンしました。

室内にはサステナビリティーな配慮が随所に。入口のカウンター、作業用テーブルと椅子、休憩用のソファー は、熊野の山を守るプロジェクトチーム「Boku Moku」が制作したもの。「素朴な木」から名付けたプロジェ クト名のとおり、素材の良さを生かしたものづくりで地域の秘めたる魅力に光をあて、伝え広めることをコン セプトに活動するチームです。CC神楽坂では、彼らが制作する家具を置き、触れてもらうことで社会課題を 発信しています。

林業従事者の減少で、熊野の山林では虫によ る食害が増えています。被害を受けた木材は 「あかね材」と呼ばれ、山に放置されてさらな る荒廃の原因となっています。Boku Mokuは あかね材の虫食い痕をデザインに生かし、さま ざまな形でプロダクト(商品)化しています。





壁面には「HEARTWALL」を展開。ウォール アート「神楽坂マップ」をスコープの社員が描 きました。アートによるヒーリング効果で、 CC神楽坂で過ごす人へ新しいインスピレー ションをもたらします。

「社会課題イベント実績]

- ・地域住民向けデッサン教室(デッサンと向き合い、進路を決めた方がいました)
- ・秋田の郷土料理を楽しむ会(フードコーディネーターによる調理を見学)
- ・「ロコの星マーケット」LIVE配信ショッピング









サンプルフリーへの挑戦「ウォレッチョ」

WalletCho (ウォレッチョ)とは、「生活者がキャッシュバックの受け取り方法を選べ る」という送金プラットホームサービスです。サステナブルな面での特徴は、サンプル品 の廃棄を削減できること。外出先などで偶然もらったサンプル品は、「半分以上捨てて いる」という人が約45%もいるのが現実です(2020年当社調べ)。サンプル品の配布 を廃止し、キャッシュバックでの販促に移行することで、サンプル品製造にかかるエネ ルギーや配布された先での廃棄を低減することができます。





WalletCho 施策イメージ



日常生活道線での

店頭購入



レシートでの

web 応募





購入額、または一定額を

キャッシュバック



実質、サンプルを もらったと同じ

🧩 持続可能なまちづくりの探究





まちづくりの達人に学ぶサステナブルに対応した地域力の創造

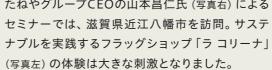
eコマース隆盛の一方で、公共空間や商業施設などでは、心の満足や体験価値を求め る傾向が強まっています。「リアルメリットを高めた価値創造」を核に持続可能なまち づくりやビジネスモデルを探究する賑わい創研では、会員向けセミナー「NIGIWAI LABO | を通じてそのヒントとなる情報を発信しています。また、和歌山市の地域再生 事業に参画し、ビジネススクールを開催。地方の人材育成にも取り組んでいます。















和歌山市和歌浦地区の明光通りトータルプロデュ ースでは行政と連携し「Business Development School」を開催。早くも商店街の空き店舗再 生事業を始める修了生が登場しています。

80 Innovation SCOPE GROUP SUSTAINABILITY REPORT 2021-2022

2. Action

社内外を通じて、自ら主体性を持って SDGsの達成に向けた具体的なアクションを実行します。

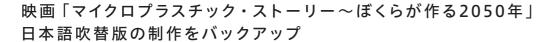


🧰 プラスチック汚染問題 解決への取り組み









日本でも多くのファンを持つ映画「マイクロプラスチック・ストーリー~ぼくらが作る2050年」 の待望の日本語吹替版が、2021年に制作・公開されました。公募オーディションには全国 578名の子どもたちが挑戦。見事に子役声優を務めてくれました。また映画の趣旨に賛同し たたくさんの大人の方も応援出演してくださいました。本作は、オーディション開催から吹替 版収録まで、たくさんのボランティアの力で制作された異色の作品です。スコープは、制作環 境の準備や広告宣伝活動、上映会運営で制作に協力いたしました。



プレスリリース





ニューヨーク市ブルック リン在住の小学5年生た ちが、世界的なプラスチ ック汚染問題を学び活動 する長編ドキュメンタリ ーです。彼らの視点で問 題の根幹をあぶり出し、 解決に向かって自分たち のコミュニティーからア クションを広げていくま での2年間を追いました。

X

未来世代とともに、未来を変えるアクションチームを結成!



スコープは、本作をプロデュースしたニューヨークの非営利環境教育団体 「カフェテリア・カルチャー」と連携し、オーディションに集まった子どもた ちの中で有志を募り、「マイクロプラスチック・ストーリー アンバサダーズ」 を結成しました。映画を応援しながらプラスチック汚染問題解決に向けたア クションに取り組むコミュニティーで、月1回程度のオンラインミーティング やイベントを通じてメンバー間の交流を図るとともに、環境問題に対峙する リテラシーを共有し、「未来を変えるアクション~ぼくらが作る2050年~」 のムーブメントを広げる活動を行っています。

🧩 行政/団体活動への参加



作品制作で社会へ発信「IAAA SDGsポスター募集」最優秀賞を受賞

IAAA(一般社団法人 日本広告業協会)主催「SDGsポスター募集」で、スコープの市川真由美・酒井勇二・吉 田智子・大木友里によるグループ作品「アイデアの種を飛ばそう。」が最優秀賞を受賞しました。「広告業界の役 目を明確にしたメッセージである」と評価され、2020年度最優秀賞に続き、2年連続での受賞となりました。

最優秀賞受賞作品(2021年度)







「SDGs達成に向けてチャレンジしていこう! 私た ちのチャレンジの種がいつかどこかで花となり、き っと実る」――。「たんぽぽの種」は、そんなスコー プグループのSDGs活動への思いを表現したもの で、サステナビリティーサイトのキービジュアルに もなっています。SDGs推進には広告業界による積 極的なアイデアの提供が必要と考え、17の目標と ターゲットを種に置き換えました。SDGsポスター 制作への参加は「社会への発信」につながると考 えています。

社会貢献団体への参加

「FSC® COC認証」取得

スコープは、2021年に433.75tの認証紙を使用しました。

- ・クライアントさま用 ······· 433t



内閣府「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」

SDGsの国内事業を促進して地方創生につなげるため、内閣府が広範なステークホル ダーとのパートナーシップを深める場として設置したプラットフォームに参加しています。



「一般社団法人日本ウオーキング協会」業務提携

人々の健康につながる活動実践のため日本ウオーキング協会と業務提携し、ウォーキング大会の開催やアプリ 開発を実施。さらなる社会貢献に向け、今後は健康スポーツ、ヘルスツーリズム等の新サービス構築に取り組 みます。昨年は、復興を願い東北4県を歩いてつなぐ「絆ウォーク」を実施しました。

「ワンプラネット・ペーパー®協議会」

環境に配慮しながらアフリカの貧困層の村に雇用を生み出し、現地の人々の自立を支えるバナナ ペーパー「ワンプラネット・ペーパー®」の普及促進活動に参加しています。



11

10

2. Action

社内外を通じて、自ら主体性を持って SDGsの達成に向けた具体的なアクションを実行します。



社内のシーズンイベント ~サステナビリティーな創作活動



クリスマス

環境に配慮した素材で「社内デコレーション」

クリスマスに合わせて「Fun! Take a step for SDGs Christmas」 をテーマにオフィス内を装飾。廃材を加工し、木の風合いを生かしたモ ダンでシンプルなツリーに、紙とワーロンで作ったオーナメントを飾り、 雪景色を演出しました。廃材の活用とプラスチック削減でSDGsを実現 しながら、社員だけでなく、訪れるお客さまにもシーズンイベントを楽し んでいただくことができました。



フェアトレードを身近に体験する「クリスマスFIKA (フィーカ)」

オフィス内のコミュニケーションエリアにて、クリスマスケーキとともに、フェアトレードのコーヒーと紅茶を味わ い語り合うひとときを設けました。マイボトルでの参加を推奨し、プラスチック削減にもチャレンジ。参加者からは 「フェアトレード商品を体験できたのが良かった」との声も多く、SDGs啓発につながったことを実感しています。 「FIKA」とは、みんなで一緒にコーヒーを飲みながらコミュニケーションを図るスウェーデンの生活習慣です。



商品購入=給食寄付となる「マラウイコ ブ様とのコラボレーションでハンドドリッ プ提供。マラウイ国の子どもたちに約400 食の給食を支援することができました。



(バレンタイン)

「フェアトレードチョコレート寄付」で子ども食堂を訪問

2020年にスタートした「子ども食堂」 応援活動。 今年は新宿二 コニコ子ども食堂を訪問し、社員からの支援金で購入したフェア トレードチョコレートをプレゼントしました。同食堂は、シングル マザーや経済的困難を抱える子育て家庭を支援するNPO法人キ ッズ未来プロジェクト様が運営しています。フェアトレードの解 説ポスターも掲示させていただき、子どもたちに貧困のない社会 づくりについて考えてもらうきっかけづくりができました。



※「多様化への変革」で サステナビリティーな働き方へ





多様な人材が活躍する職場環境

2018年、飯田橋への拠点統合を機に、スコープでは社員おのおのが持つ力を発揮できるよう、「働き方」の課題 解決に向けた社員プロジェクトチームが発足しました。その核の一つがリモートワーク。育児・介護等に追われる 社員でも、その活躍を持続可能にする「在宅勤務」の実現を目指しました。ノート型PCのリプレイス、ペーパー レス化、オンライン会議導入など、リモートワークに重要な環境を整備。これは、新型コロナウイルス感染症拡大 対策に大変役立ち、非常時でも事業を継続できるという自信につながりました。リモートワークによる生産性の 向上、ライフプランとキャリアプランの実現、傷病・育児・介護等の個別事情での勤務支援と、出社することで生 まれるコミュニケーションとの両輪で、スコープは多様な働き方を実現していきます。

安心して働くための具体的な環境整備

サステナビリティーな働き方に対応するため、在宅勤務環境とオフィス環境、両方の変革に取り組んでいます。

<CASE1>

各種アプリケーション機能のクラウドへのシフト、保安性と利便性を両立した認証システム の導入、各部署への適正な端末の支給など、在宅勤務に対応した整備を推進。



ニューノーマルなコワーキングスペースのCC神楽坂では、空気中の浮遊菌を不活性化させ る紫外線照射装置「エアロシールド」、空気環境を可視化して換気を促す「MADO」を導入。



オンラインストレッチで在宅中の健康を管理



コンディショニングサービスを行う株式会社R-body様より、「デスク 周りでできる、簡単なストレッチ方法」などのオリジナルプログラムを 提供していただいています。リモートワークにおける健康管理のため、 オンラインストレッチを推奨し、さまざまなプログラム動画をコロナ禍 で配信しました。現在もスコープオフィスサイネージのコンテンツとし て、ストレッチの習慣化を呼び掛けています。

エシカル資材を積極的に社内起用

「スコープカレンダー 2022」では、FSC® 認証紙、タンザニアコットン、エースボール (古紙配合100%)のエシカル資材を採 用。社用封筒・手提げ袋などもFSC®認証 紙で作成しています。





3. Communication

社会とステークホルダーに対して、SDGs推進のための "コミュニケーション"を提供します。



企業様のSDGs活動へ コミュニケーションデザインを提供

(ウェブ制作)

人工衛星の広報活動とデータ利用促進





地球観測衛星による気候変動問題への対策等 を積極的に推進するJAXA第一宇宙技術部門 様。そのウェブサイトリニューアルプロジェクト で、スコープはサイトコンセプト設定、デザイン やCMSによる維持管理、セキュリティーに配 慮したインフラ構成など、企画から保守まで多 岐にわたり運用させていただいています。 [Satellite Navigator] [Earth-graphy] の2つのウェブサイトは、幅広い世代に、技術 開発から社会貢献に至るまで衛星の開発と意義 を理解いただくためのプラットフォームです。こ れらのサイトに肥大化した情報を集約すること で、衛星データ利用促進の一助となっています。

噴火とそれに伴う津波の発生や軽石の噴出、 台風での降水、豪雨による洪水、農産物に影響 する干ばつなど、衛星が捉えた地球の姿は、そ こで暮らす人々にとって有意義なデータです。 より広く利用できるように広報活動を推進中。

プロモーション動画

首都高速道路上に原風景を再生

首都高速3号渋谷線大橋ジャンクション上のビオトープ施 設「おおはし里の杜」は、自然が豊かだった時代をイメー ジし、植栽景観の再生と多様な生物の生育空間創出のた めに整備されました。スコープは、その紹介動画を制作。 環境への取り組み発信のプラットフォームとなるウェブサ イトも、時世に合わせたリニューアルを企画・制作させて いただきました。



(PR施策)

衣料品回収キャンペーン



環境省が定める「3R推進月間」(10月)にて、企業様が 実施する初の衣料品回収キャンペーンについてメディ ア誘致したPR施策をスコープが企画実施。テレビでの 特集放映を獲得しました。

その他

「食品ロス削減レシピ開発 |:レシピ動画、店頭POP 企画制作 「ライトダウンキャンペーンCO₂削減の啓発活動」:ウェブページ、SNSキャンペーン 企画制作 「サステナブルシーフード月間」:ウェブページ、店頭POP 企画制作 「企業様×地方公共団体ペットボトル回収機設置」セレモニー:メディア対応、企画制作・施工 「インナー向けサステナブル商品説明会(展示会)でのエコ関連展示」:企画制作・施工

イルミネーション装飾

竹を生かした「竹あかり」





竹に彫刻を施しあかりをともす「竹あかり」を演出制作 するプロデュース集団「CHIKAKEN〈ちかけん〉」と、 エシカル資材を探究するスコープが手を組みました。放 置竹林から切り出された竹が美しく繊細な竹あかりに生 まれ変わり、全国でさまざまな地域を照らしています。

【写真上】広大な竹林を開発した街に「竹あかり」を展 開中。住民の交流、新たな文化を育成しています。

(写真提供:赤池まち灯り実行委員会)

【写真下】遊園地隣接のフラワーパークをライトアップ。 安らぎや解放感のある神秘的な世界を演出します。

(写真提供:よみうりランドHANA・BIYORI)



スコープグループ サステナビリティーサイト

株式会社スコープ

■本社

SCOPE

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 28階

電話:03-3556-7610「代表]

■関西営業所

〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-2-19 アステリオ北堀江ザ・メトロタワー 501号室

電話:06-7670-5700[代表]



株式会社スコープ ジェイ・ピー

〒162-0818 東京都新宿区築地町9 グラスハウス 5階

電話:03-5261-4362

C2S CREATIVE株式会社

■ C2S CREATIVE 〒162-0818 東京都新宿区築地町9 グラスハウス 2階

T=7 . 00 0540 4504

電話:03-3513-4581



株式会社賑わい創研

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 28階

電話:03-3556-7640









本冊子は、FSC®認証紙、印刷工程で排出される有害廃液を低減する水なし印刷、VOC (揮発性有機化合物) ゼロの植物油インキであり米ぬかの再活用で再生可能な生物由来のバイオマス原料を用いたライスインキ、見やすく間違えにくいユニバーサルデザインフォント、針金・のり・加熱なしのエコプレスバインダー製本を採用しています。